

第60回

日本太鼓全国講習会



長野県箕輪町・赤そばの里

期 日 2017 年 9 月 16 日（土）・17 日（日）

会 場 長野県・箕輪町文化センター

主 催  [公財] 日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

主 管 日本太鼓財団長野県支部、みのわ太鼓保存会

後 援 文化庁、長野県、長野県教育委員会、箕輪町、箕輪町教育委員会、日本財団



公益財団法人 日本太鼓財団

会 長 松 本 英 昭

公益財団法人日本太鼓財団では、現在41都道府県に45支部が設立され、加盟団体数700チーム、会員総数2万人を数えております。

財団事業の一つである資格認定制度に基づく公認指導員、技術認定員の総数もそれぞれ200名、11,549名と着実に増えております。

また、公益財団法人日本太鼓財団は本年創立20年目を迎えます。これを記念し、今月に東京都国立劇場において全国から15チームによる「日本太鼓全国フェスティバル」を開催、そして、11月には東京都浅草におきまして「日本太鼓財団創立20周年記念日本太鼓フェスティバル『浅草太鼓祭』」を実施いたします。

今年の主な活動として、3月に兵庫県において、次代を担うジュニアの健全育成と日本太鼓の後継者づくりを目的に「日本太鼓ジュニアコンクール」を開催いたしました。昨年に引き続きブラジル、台湾に加え、アルゼンチンチームが特別演奏として出演しました。国内外の予選には522チーム5,506名が出場、本選では全56チームが日頃の練習の成果を競い合い、福岡県の「和太鼓たぎり」が初優勝を果たしました。なお、この大会の様子はインターネット配信により、全世界に中継されております。その他、10月には静岡県で障害者チームによる「日本太鼓全国障害者大会」、奈良県大和郡山市で「国民文化祭・なら2017太鼓の祭典」をそれぞれ開催いたします。

このように日本太鼓が脚光を浴びるなか、第60回日本太鼓全国講習会が長野県箕輪町・箕輪町文化センターを中心として開催できますことは誠に喜ばしいことであります。この講習会は、日本太鼓の指導者育成と太鼓技術の向上を目的として行うものです。参加される皆様には、一流講師の指導のもと、技術の習得は勿論、太鼓の歴史や礼節を学びとっていただきたいと思います。併せて、日本太鼓を通じ全国の仲間と交流を図り、友好を深め、それぞれの思い出に残る講習会となりますことを期待いたします。

最後になりましたが、今回の講習会にあたり、ご支援、ご協力いただきました文化庁、長野県、長野県教育委員会、箕輪町、箕輪町教育委員会をはじめ、ご指導いただきます講師の先生方、そして細部にわたりお世話いただきます主管団体の日本太鼓財団長野県支部、みのわ太鼓保存会の皆様に心からお礼を申し上げます。



日本太鼓財団 長野県支部

支部長 古 屋 邦 夫

公益財団法人日本太鼓財団「第60回日本太鼓全国講習会」が長野県南部伊那谷の箕輪町で開催されますことは大変光栄なことであり、全国からお越しの皆様を心より歓迎申し上げます。

長野県におきましては1998年の長野冬季オリンピック閉会式参加は今でも記憶として脳裏に浮かぶものであります。また財団主催、全国障害者大会・ジュニアコンクール・全国フェスティバルも開催してまいりました。講習会におきましても全国および支部講習会を開催し、4年前2013年には第47回全国講習会を同地で開催しました。これもひとえに関係機関のご尽力と日本太鼓発展へのご理解ご協力の賜と深く敬意を表する次第でございます。

さて、講習会は指導者育成と太鼓技術の習得・向上および日本太鼓の普及・振興を図ることを目的としておりますが、それ以上に多くの人と知り合い語り合い、人間関係の輪を広めていただく場と考えております。

また、演奏スタイルを統一させるものではありません。太鼓道として礼節をも学び、基本を身につけたうえで各団体の持ち味を生かした和太鼓演奏こそが、地域に根付く郷土（伝統）芸能としての魅力ではないかと思います。

一方、現在日本太鼓は単なる郷土芸能・民俗芸能の域を超え音楽芸術の一環として世界でも注目を集める存在であり無限の可能性を期待されています。老若男女・障害者を問わず益々多くの人に活躍の場が広がることを希望します。

今回の講習会開催にあたりましては支部をあげてご協力させていただくとともに、素晴らしい講師の方々をお迎えしております。技術を教わるだけではなく是非技術を盗み取ってほしいと思います。その結果実り多きを得られるものと確信しております。

最後にご指導いただきます講師の皆様をはじめご尽力賜りました公益財団法人日本太鼓財団ならびにご後援をいただきました文化庁・長野県・長野県教育委員会・箕輪町・箕輪町教育委員会・日本財団、そしてスタッフ・受講生の皆様に心より感謝申し上げます。太鼓に対する一層の情熱と精進を期待しますとともに、更なる日本太鼓普及・発展のため益々ご活躍くださいますことを祈念しご挨拶とさせていただきます。

第60回日本太鼓全国講習会 概要

1. 目的 日本太鼓の指導者育成と太鼓技術の向上を促し、日本太鼓の普及・振興を図ることを目的として実施します。
2. 開催日時 2017年 9月 16日(土) 11:00 (受付開始 9:30)
17日(日) 12:30 講習会終了
＊専門講座を受講された方は、設定された講話「太鼓について」(浅野昭利氏)を
13:30より受講後、14:30頃の解散となります。
なお、技術認定のための検定試験は日曜の13:30より実施します。
3. 講習会場 箕輪町文化センター(長野県箕輪町)
4. 主催 公益財団法人 日本太鼓財団
5. 主管 日本太鼓財団長野県支部、みのわ太鼓保存会
6. 後援 文化庁、長野県、長野県教育委員会、箕輪町、箕輪町教育委員会、日本財団
7. 講習内容
 - 総合指導 古屋 邦 夫 氏(財団技術委員長)
 - 専門講座
 - 三ツ打太鼓講座 (複式単打法) 河 合 睦 夫 氏(富山県)
 - 八丈太鼓講座 (単式複打法) 菊 池 修 氏(東京都)
 - 御諏訪太鼓講座 (複式複打法) 松 枝 明 美 氏(長野県)
 - 基本講座
 - 3級基本講座 安 江 信 寿 氏(石川県)
 - 4級基本講座 若 山 雷 門 氏(岐阜県)
 - 5級基本講座 (初心者講座) 渡 辺 洋 一 氏(東京都)
 - 専門講座講話 浅 野 昭 利 氏(石川県)
8. 公認指導員昇級試験
本講習会において公認指導員の昇級試験として講習内検定を実施します。
9. 受講者数 約150名
10. 受講に際して
 - (1) 講座は、途中で変更することは出来ません。
 - (2) 講習途中の出入り、見学等は出来ません。
 - (3) 受講中は、休憩時間を除き喫煙、飲食等を禁止します。
 - (4) 受講時の太鼓等の移動は、受講者が積極的に行ってください。
 - (5) 受講者は、運動着、運動靴、筆記用具、バチを持参してください。
なお、各基本講座の受講者は次の指定バチをそれぞれ1組持参してください。
カシバチ 太さ 7.5分～8.0分 長さ 1尺3寸～1尺4寸
太さ 6.0分～6.5分 長さ 1尺3寸～1尺4寸
＊専門講座については開催要項をご参照下さい。
 - (6) 会場で、太鼓関係物品の展示及び販売もいたしますので、ご利用下さい。

11. 生活上の心得

- (1) 団体生活においては、秩序と礼儀、協力と責任が基本条件になることを十分に認識して自分の行動を律して下さい。
- (2) 講師や受講生と積極的に語り合い、交流の輪を広げることが講習会の成果を大きく左右します。
- (3) 金銭等の貴重品は必ず身につけて下さい。
- (4) 事故等が発生したら直ちに本部に連絡して下さい。
- (5) 宿泊のマナーには十分気をつけて下さい。
万一の場合に備えて避難口を確認して下さい。室内の整理整頓に心がけて下さい。
寝タバコは絶対に禁止します。
- (6) 健康には留意し、特に睡眠時間を十分にとるようにして下さい。
万一体調をくずした場合は早めにお申し出下さい。

12. 講習曲使用について

講習会において使用した曲を、講習会以後に演奏したい場合は、財団事務局までお問合せ下さい。

13. 技術検定 <受験希望者は、下記項目をご確認下さい。>

(1) 受験資格並びに方法

○ 1 級技術検定

2 級技術認定員のみ受験できます。打法の異なる専門講座に 3 回合格する必要があります。

専門講座のうち一つを受講して下さい。

なお、最終検定を受ける方は、論文（1,600 字程度・テーマは日本太鼓の効用に関する内容）の提出が必要です。

○ 2 級技術検定

3 級技術認定員のみ受験できます。打法の異なる専門講座に 2 回合格する必要があります。

専門講座のうち一つを受講して下さい。

なお、最終検定を受ける方は、論文（800 字程度・テーマは日本太鼓に関する内容であれば自由）の提出が必要です。

＊ 1・2 級技術検定において全打法（単式単打・単式複打・複式単打・複式複打）の専門講座を受講する必要があります。

＊ 1・2 級最終検定の論文は、400 字詰め原稿用紙を使用して下さい。

○ 3 級技術検定 4 級技術認定員のみ受験できます。

○ 4 級技術検定 5 級技術認定員のみ受験できます。

○ 5 級技術検定 10 才以上であれば初心者を含めどなたでも受験できます。

（2018 年 4 月 1 日までに 10 才を迎える方も含みます。）

(2) 技術検定料は一律 2,000 円、講習内検定料は一律 5,000 円です。

(3) 認定料は、合格者に限りその場で必要となります。

1 級認定料 20,000 円、 2 級認定料 10,000 円、 3 級認定料 8,000 円、

4 級認定料 5,000 円、 5 級認定料 3,000 円

(4) 検定試験の際は必ず各講座の指定パチをご使用下さい。

(5) 直接検定試験を受ける方は、受付で受験方法を確認して下さい。

(6) 基本講座は「日本太鼓教本」が一人一冊必要となります。お持ちでない方は、売店でお求め下さい。

第60回日本太鼓全国講習会・日程表

第1日目 2017年9月16日（土）

時 間	進 行	箕輪町文化センター	交流センター・産業会館
9：30	受付開始 受付次第、更衣室で着替えを済ませ、待機して下さい。 私物は個人で管理して下さい。	ホワイエ	
	*男子更衣室：		
	*女子更衣室：		
10：00	*講習内検定者打合せ会（基本講座講師・講習内検定参加者）		
11：00	開会式 開会の辞 国歌斉唱 あいさつ （公財）日本太鼓財団 塩 見 和 子 理事長 日本太鼓財団 長野県支部 古 屋 邦 夫 支部長 来賓祝辞 来賓・役員・講師紹介 閉会の辞	ホール	
11：40	講師模範演奏 オリエンテーション *記念写真（講座別）		
12：00	昼食・休憩 *昼食後、各会場へ移動		
13：00	総合指導 講師：古 屋 邦 夫 氏 三ツ打太鼓講座 講師：河 合 睦 夫 氏 八丈太鼓講座 講師：菊 池 修 氏 御諏訪太鼓講座 講師：松 枝 明 美 氏 3級基本講座 講師：安 江 信 寿 氏 4級基本講座 講師：若 山 雷 門 氏 5級基本講座 講師：渡 辺 洋 一 氏		
18：00	講習終了 *講習内検定者反省会：		
19：00	夕食・入浴 消灯・就寝		
宿舎 （本部）	伊那プリンスホテル 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町中箕輪8288-1 Tel.0265-79-0088		
備考	宿舎では、マナーを守って生活して下さい。		

第2日目 2017年9月17日（日）

時 間	進 行	箕輪町文化センター	交流センター・産業会館
	起床 朝食 片づけ ＊荷物は各講習会場に持参		
8：45	朝の集い（体操用に運動着を着用のこと）	各会場	
9：00	総合指導 講師：古 屋 邦 夫 氏		
	三ツ打太鼓講座 講師：河 合 睦 夫 氏		
	八丈太鼓講座 講師：菊 池 修 氏		
	御諏訪太鼓講座 講師：松 枝 明 美 氏		
	3級基本講座 講師：安 江 信 寿 氏		
	4級基本講座 講師：若 山 雷 門 氏		
	5級基本講座 講師：渡 辺 洋 一 氏		
11：00	講習終了 成果発表会準備	移動・準備	
11：30	専門講座成果発表会	ホール	
12：00	閉会式 あいさつ （公財）日本太鼓財団 大 澤 和 彦 常務理事 日本太鼓財団 長野県支部		
12：30	昼食・休憩		
13：00	専門講座成績発表		
13：30	専門講座講話：「太鼓について」 浅 野 昭 利 氏		

<以降、検定受験者のみ>

13：30	検定試験（筆記） 5級→4級→3級 終了次第、実技試験を受検		
	検定試験（実技） 3級→4級 終了次第、学科試験を受検		
	5級 受講待機場所：ホワイエ	ホール	
16：00 （予定）	成績発表 （全員） ＊合格者は手続き終了後解散	ホール	
16：30 （予定）	終了予定		

講師プロフィール



総合指導

講師 古屋 邦 夫

御諏訪太鼓保存会(長野県)会長
(公財)日本太鼓財団技術委員会委員長
(公財)日本太鼓財団 1 級公認指導員
日本太鼓財団長野県支部 支部長

- 1967年 6 月に御諏訪太鼓に入門、宗家小口大八氏に師事、以来今年で太鼓歴50年を数える。
- 1970年より宗家小口大八氏と共に岡谷太鼓の指導を始める。信州太鼓連盟(現在の長野県太鼓連盟)の発足に携わる。
- 1978年10月、長野県やまびこ国体で集団演技太鼓の部で県内チームを指導する。以降、各地の団体を指導し、その数170チームを数えている。また、海外でも数多くの公演を行い多くの海外チームを指導している。
- 1998年 2 月に開催された長野冬季オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2,000人太鼓等の指導を行った。
- 1998年 4 月から当財団の技術委員会委員として活躍している。
- 2001年 4 月下旬～5月上旬にかけ、バルト 3 国(リトアニア、ラトビア、エストニア)におけるユネスコ会議等での公演に参加。
- 2008年10月から長野県支部長、御諏訪太鼓保存会会長に就任。



専門講座

「専門講座講話」

講師 浅 野 昭 利

(一財)浅野太鼓文化研究所 理事長

1947年、石川県松任市(現・白山市)生まれ。慶長14年(1609)より続く和太鼓製造技術を継承。とくに三尺以上の大太鼓製作については独自の技術をもち、全国の神社仏閣、太鼓グループ等に多くの太鼓を製作する一方、太鼓文化の振興と発展を目ざしてさまざまな活動を行っている。太鼓専門情報誌『たいころじい』をはじめ『はじめての太鼓よーいドン!』『和太鼓がわかる本』『太鼓という楽器』など、太鼓関連書籍も多数出版。株式会社浅野太鼓楽器店代表取締役専務。浅野太鼓祭司株式会社代表取締役社長。太鼓の里響和館代表。公益財団法人鼓童文化財団理事。NPO法人おやこの広場あさがお理事長。2007年、白山市より地域文化賞受賞。

講師プロフィール



専門講座

「三ツ打太鼓講座」(複式単打)

講師 河合 睦 夫

越中いさみ太鼓保存会(富山県)名誉会長
(公財)日本太鼓財団1級公認指導員
富山県太鼓協会名誉会長

- 1943年 野村島(現・砺波市)に生まれる。
- 1953年 越中いさみ太鼓保存会結成と同時に入会して現在に至る。
- 1960年 北陸三県太鼓打番付、曲打ちの部優勝。
- 1978年 第1～3回富山県太鼓打ち競技会3年連続優勝により、富山県太鼓協会より初代名人位を授与される。
- 1994年 富山県太鼓協会会長に就任する。
- 2010年 第7回日本太鼓シニアコンクールにおいて『名人位』を受賞する。
- 2012年 富山県太鼓協会会長を退任し、『名誉会長』に就任する。



専門講座

「八丈太鼓講座」(単式複打)

講師 菊池 修

八丈太鼓六人会(東京都)代表
(公財)日本太鼓財団1級公認指導員

南国情緒豊かな八丈島は、関ヶ原合戦に敗れた宇喜田秀家公が流された流人の島として知られています。八丈太鼓の原点は、武器(刀)を失った流人が、そのうっぷんを太鼓のバチに託して打ち鳴らしたもので、打つ様と響きは血湧き、肉踊る感じを覚えさせてくれます。一つの太鼓を二人で表(上拍子)と裏(下拍子)を打つ両面打ちから生まれる独自のリズム、太鼓の音にあわせて歌われる太鼓節は東京都の無形文化財に指定されています。

八丈太鼓のシンプルさと自由奔放に打ち鳴らす形が他の地域では見られないもので、日本の太鼓の中でも独自の位置づけをなされています。現在の六人会は、菊池修を中心に11名のメンバーが国内外を問わず広く演奏活動しています。

- 1955年、東京都八丈島に生まれる。11才の頃から太鼓好きの大人のなかに入り、兄弟にて打ち始める。中学・高校・社会人と兄弟太鼓で全国各地へ。
- 1981年に同年代の太鼓好きの仲間を集い、八丈太鼓六人会を結成する。最初は6名で始めたメンバーも現在は13名と徐々に増えている。
- 八丈島の太鼓代表として国内はもとより各国からの要請で演奏活動を行っている。

講師プロフィール



専門講座

「御諏訪太鼓講座」(複式複打)

講師 松 枝 明 美

御諏訪太鼓保存会(長野県)副会長
(公財)日本太鼓財団 1 級公認指導員
日本太鼓財団長野県支部 事務局長

- 1980年3月に御諏訪太鼓に入門、宗家である小口大八氏に師事、以来今年は太鼓歴37年を数える。
- 福島県の指導を皮きりに県内外チームの指導に努め、すでに100チームを越える。
また海外でも数多くの公演を行い、多くの海外チームを指導している。
- 1998年2月に開催された長野県オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2,000人太鼓等の指導を行う。
- 1999年は5月下旬～6月下旬にかけ、ペルー並びにポリビアにおける日本人移住100年祭記念公演に参加。
- 2001年4月下旬～5月上旬にかけ、バルト3国(リトアニア、ラトビア、エストニア)におけるユネスコ会議等での公演に参加。
- 2008年10月から長野県支部事務局長、御諏訪太鼓保存会副会長に就任。



基本講座

「3級基本講座」

講師 安 江 信 寿

手取亢龍太鼓保存会(石川県)
(公財)日本太鼓財団技術委員
(公財)日本太鼓財団 1 級公認指導員

この講座は、3級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 1989年、手取亢龍太鼓を結成。リーダーとして地元に伝わる虫送り太鼓のリズムを残しながら、現在の演奏スタイルを確立する。
- 石川県太鼓連盟企画副委員長として、連盟組曲100人太鼓「加賀の響き、能登の響き」の作調・指導をした。また、石川県太鼓連盟主催の初心者教室、県立聾学校中学部の和太鼓クラブ、県内高校演劇クラブ、全国海づくり大会での合同演奏を指導している。
- その他、松任市保育園児600人虫送り太鼓の合同演奏、スポレク石川2000での100人太鼓の指導等を行っている。
- 日本太鼓ジュニアコンクールでは、第1回、第2回大会ともに舞台監督として活躍した。

講師プロフィール



基本講座 「4級基本講座」

講師 若山 雷門

日本太鼓集団/鼓国雷響プロジェクト(岐阜県)代表
(公財)日本太鼓財団 1級公認指導員
岐阜県教育委員会 特別非常勤講師

この講座は、4級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 17才にして夏祭りの櫓太鼓に心ひかれ撥を握る。
- 1980年、日本の太鼓まつり出演を皮きりに太鼓曲の作調、振り付け及び育成指導と併せて国内外に演奏活動を展開する。
- 1984年、荘厳な神話の歴史を貫いて誕生した世界最大級「ん太鼓」(直径2.4m)の打頭となり「ん太鼓奉賛会」より鼓号「雷門」を襲名する。また、中部圏を基盤に日本太鼓集団/鼓国雷響プロジェクトを創設し、それぞれ地域の観光、地場産業振興のために民俗芸能を継承している。
- 1996年4月、KOKOKURAIKYOU-HEADTEAM「鼓国雷響JAPAN」をJAPAN代表雷華と共に旗揚げした。
- 各地団体の指導を行ない、既にその数100チームを越える。
- 2011年5月から2015年3月まで当財団代議員、岐阜県支部副支部長を歴任した。



基本講座 「5級基本講座」

講師 渡辺 洋一

太鼓集団天邪鬼(東京都)代表
(公財)日本太鼓財団技術委員
(公財)日本太鼓財団 1級公認指導員
関八州太鼓連合 会長

この講座は、5級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 幼少の頃より盆太鼓を学び、1976年に日本初の和太鼓プロ団体である助六太鼓に入門。以後プロ奏者として活動する。
- 1986年12月、創作和太鼓奏者として活動するために太鼓集団天邪鬼を発足。以後、和太鼓音楽を広げようと模索し、1988年に天邪鬼パフォーマンスThe Unknown Worldを作曲。多様な楽器を和太鼓に組み入れたことで、ジャンルの壁を飛び越えた新しい和太鼓音楽を発表し、国内外のアーティストと精力的にセッションを行う等、多彩な音楽活動を続けている。また、全国各地の創作和太鼓の作曲・指導を手掛け、全国大太鼓コンテストにおいては、数多くの優勝者を輩出している。2003年度には文化庁より「特別顧問 文化交流使」を任命され、米国デンバーに於いて1ヶ月の和太鼓指導を行う。

日本太鼓資格認定制度

本制度は、公益財団法人日本太鼓財団の寄付行為及び日本太鼓資格認定規程並びに日本太鼓資格認定規程細則で詳しく定めている。

主な内容は次のとおりである。

1. 本制度は、指導員としての資格について認定する「公認指導員」と演奏者としての技術水準の資格について認定する「技術認定員」の2つに区分される。
2. 公認指導員は、次の4つに区分され、それぞれ資格を有する。
 - (1) 特別公認指導員は、当財団が特に認めた者で、指導員研修会の講師並びに当財団及び支部が主催する全ての講習会における講師、検定員としての資格を有する。
 - (2) 1級公認指導員は、指導員研修会の講師並びに当財団及び支部が主催する全ての講習会における講師、検定員の資格を有する。
 - (3) 2級公認指導員は、当財団及び支部が主催する全ての講習会における基本打法担当講師、検定員としての資格を有する。
 - (4) 3級公認指導員は、支部が主催する講習会における基本打法担当講師としての資格を有する。
3. 技術認定員は、次の5つに区分される。
 - (1) 1級技術認定員は、演奏技術全般にわたり技術が正確かつ優秀である者をいう。
 - (2) 2級技術認定員は、演奏技術全般にわたり技術が正確である者をいう。
 - (3) 3級技術認定員は、基本打法の技術を正確に習得し、かつその演奏が優秀である者をいう。
 - (4) 4級技術認定員は、基本打法の技術を正確に習得した者をいう。
 - (5) 5級技術認定員は、基本打法の基礎を習得した者をいう。
4. 認定試験の受験資格は、次のとおりである。
 - (1) 1級公認指導員は、現に2級公認指導員であり、30才以上の年齢に達した者。
 - (2) 2級公認指導員は、現に3級公認指導員であり、20才以上の年齢に達した者。
 - (3) 3級公認指導員は、現に1級技術認定員であり、20才以上の年齢に達した者。
 - (4) 1級技術認定員は、現に2級技術認定員であり、10才以上の年齢に達した者。
 - (5) 2級技術認定員は、現に3級技術認定員であり、10才以上の年齢に達した者。
 - (6) 3級技術認定員は、現に4級技術認定員であり、10才以上の年齢に達した者。
 - (7) 4級技術認定員は、現に5級技術認定員であり、10才以上の年齢に達した者。
 - (8) 5級技術認定員は、10才以上の年齢に達した者。

公益財団法人日本太鼓財団概要

＜設 立 日＞ 1997年11月11日

＜公益財団移行日＞ 2012年 4 月 1 日

＜資 産＞ 基本財産 3 億円

＜加盟支部数＞ 45支部（41都道府県）

＜加盟団体数＞ 約700団体

＜会 員 総 数＞ 約20,000人

＜役 員＞	会 長	松本 英昭	（一社）地方公務員共済組合協議会会長
	副 会 長	長谷川 義	豊の国ゆふいん源流太鼓代表・全九州太鼓連合名誉会長
	副 会 長	高野 右吉	高野右吉と秩父社中代表
	理 事 長	塩見 和子	（公財）日本音楽財団会長
	常務理事	大澤 和彦	常 勤
	理 事	石井 幹子	（株）石井幹子デザイン事務所代表取締役
	理 事	大宅 映子	評論家
	理 事	島津 久永	（公財）山階鳥類研究所顧問
	理 事	中西 由郎	（公財）日本ゲートボール連合専務理事
	理 事	山内 強嗣	（社福）富岳会理事長

＜ 評 議 員 ＞	評 議 員	大竹 英雄	（公財）日本棋院顧問（名誉碁聖）
	評 議 員	岡田 知之	（公社）日本吹奏楽指導者協会会長
	評 議 員	河合 睦夫	富山県太鼓協会名誉会長
	評 議 員	北村 汎	元駐英大使
	評 議 員	佐藤 淳子	（一財）ライフ・プランニング・センター理事
	評 議 員	高島 肇久	（株）海外通信・放送・郵便事業支援機構 取締役会長
	評 議 員	濱田麻記子	（株）DHCテレビジョン代表取締役社長
	評 議 員	古屋 邦夫	御諏訪太鼓保存会会長・長野県支部支部長
	評 議 員	宮崎 義政	銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長
	評 議 員	渡辺 貞夫	音楽家

＜ 監 事 ＞	監 事	長内 健	弁護士 長内法律事務所
	監 事	竹村 葉子	弁護士 三宅・今井・池田法律事務所

（敬称略）

講習会開催予定一覧

日本太鼓全国講習会（財団主催）

◇第61回日本太鼓全国講習会(宮崎県)

期 日 2018年2月17日(土)・18日(日)

開催地 宮崎県新富町

日本太鼓支部講習会（支部主催）

◇第79回日本太鼓支部講習会(北海道道西)

期 日 2017年9月23日(土)・24日(日)

開催地 北海道岩見沢市

＊各講習会のお問い合わせは、(公財)日本太鼓財団公式ホームページまたは財団事務局
(Tel.03-6229-5577)までお問い合わせください。

公認指導員・技術認定員の現在数

(2017年9月現在)

級 \ 区分	公認指導員	技術認定員
特別	—	—
1 級	43名	174名
2 級	33名	362名
3 級	124名	1,276名
4 級	—	2,361名
5 級	—	7,376名
計	200名	11,549名

MEMO



〒107-0052 東京都港区赤坂 1 - 2 - 2
Akasaka 1-2-2, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan
Tel (03) 6229-5577 Fax (03) 6229-5580
URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail: info@nippon-taiko.or.jp